

IMAGINE ROTARY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



イマジン ローター

2022～2023年度RI会長
ジェニファー E. ジョーンズ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 瀬戸 亨一 会長エレクト 瀬戸 亨一 幹事 鈴木 美乃

第2567回 例会

令和5年5月25日 No.26

■司会：布川 史明

■点鐘：瀬戸 亨一

■合唱：我等の生業

◇プログラム ・6月1日：ゲストスピーカー原民樹様 ・6月8・15日：休会 ・6月22日：夜間例会・納会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2567回	15(13)	10	76.92%	—	—
2565回	15(13)	10	76.92%	—	—

◇欠席者（3名）

太田、原、石山さん

◇メイクアップ（0名）



ロータリーソング

◇点鐘：瀬戸亨一会長

こんにちは、最近感じる事があります。社会保険料が随分上がったなという事、電気代が上がって、食費代も上がって、重大な事件が世界で起こったりして、混沌とした世の中だだと思います。何か良い事はないかな？楽しい事はないかな？、好景気になるって事はないかなと？自分の中には探せないの…、皆さんの中にきっとこんな良い事あるよと言うお話し

があるんじゃないかなと思っています。委員会報告のところで自分の個人的な話題で構いませんので、こんない話があったよと是非言って頂けないかなと…。是非発表して下さい。宜しくお願いします。

◇布川史明SAA：



本日お配りの6月の行事予定表の*印の6月2日(木)は6月1日に訂正。

・ドレスコード：次回例会6月1日から男性は基本ノータイ、女性はジャケット無しで、気候に合わせて過ごしやすい服装でお越し下さい。

◇出席報告

吉川稔委員



吉川県議会議員が来られて、来賓挨拶で国際文化観光スポーツ常任委員、共生社会推進特別委員、神奈川県環境審議会委員になられたと話されました。

もう一人来賓が池田町長だったんですけれど、待てど暮らせど来ない。布川さんも一緒に居たんですけど、予定より30-40分遅れてきた。議会報告会があった。いじめ問題で大磯が話題になっています。新聞などにも出ています。重大事態だったと早く認定すべきだったと町長は謝罪されていました。ところが教育長は特に対応に問題があった訳ではないと話しているという訳でどうなっているのかなと感じています。町議員選挙が6月25日にありまして、14名の議席に23名の立候補者がいるとのこと。大磯町、これで旨く纏まるのかな？と。あっちでブツブツ、こっちでブツブツ言っている人が多く居るなと感じています。

◇会長報告

瀬戸亨一会長



我がクラブでも余り意見がバラバラにならないように、皆さん積極的に参加いただいてクラブを盛り上げて頂いて、大磯町のようにバラバラにならないようにご協力お願いします。

会長、幹事をやると地区の方から、あれや、これや、やって欲しいと言われるんですけど、藤田さんと越路さんに新会員ボイスに参加頂くことになりました。6月1日の夜8時からズームで開設するという事です。質問が6項目あるんですけど、小田原の方2名の方と一緒に頂くことになりました。どうか宜しくお願いします。

石山さんに納会に出て頂くよう連絡を取って予定に入れて頂きまして、楽しみにしているところです。

最後に河本さん卓話の方宜しくお願いします。楽しみにしています。

5月理事会の主要点の報告

・2024-25年度青少年交換留学生に廣川康希君を推薦する事が承認されました。

本人が5月28日の美化キャンペーンに来たいと言っています。来てくれたら参加の皆さんから話しかけて頂いて、どんな子か知って頂ければと思います。

・6月24日の大磯・小諸スポーツ交流会に小諸の小山副会長が出席。ゲーム、懇親会には鈴木さん、新宅さんが参加。トロフィーは昨日到着、記念タオルは発注中で間もなく届きます。

・桜川さんが6月22日の納会の日に来て頂く事になりましたので、久しぶりにお酒を酌み交わしたいなと楽しみにしています。

・越路さんは今日初めて聞く話ですけども財団委員会、米山奨学委員会委員を務めて頂くことになっています。

・来年度理事：奉仕活動委員長兼奉仕プロジェクト委員長を桜川さんに代わって鈴木美乃現幹事に務めて頂きます。

・中栄堂の齋藤さんのところに鈴木さんと一緒にお花を届けて参りました。

2. 先日商工会の総会に初めて参加してきました。

◇幹事報告

鈴木美乃幹事



皆さん今日は、一昨日あたりから膝が痛くて太りすぎかな と思って…。

会長の話の続きですけれど、納会に原卓さんの出席をお願いしたところ出席して下さいそうです、久しぶりにお会いするのを楽しみにしています。

美化キャンペーンの方は私も頑張っています。留学生の候補者の方もいらっしゃるのですが、朝早いですがけれども是非皆さんで照ヶ崎の浜を綺麗にするお手伝いをして行かなければと思いますので、皆さん宜しくお願い致します。

回 覧 :

・ロータリー文庫：資料のデジタル化が完成したので、経費節減のため事務所を移転するお知らせ。

移転先：105-0013東京都港区浜松町2-7-6
第3小森谷ビル別館 6階
JR浜松町駅 南口改札 金杉橋口方面
徒歩4分

・2024-2025年度ロータリー奨学生募集のお知らせ
：候補者はクラブより推薦

- A) グローバル補助金30,000~36,000ドル
 - B) 地区補助金上限24,000ドル
- 第一次選考 小論文 申込締切10月6日
第二次選考 面接と語学試験

配布物 :

- ・会報第2566回
- ・6月行事予定
- ・夜間例会・クラブ協議会・納会のご案内
- ・5月理事会議事録
- ・ガバナー月信5月号
- ・地区大会報告書
- ・ポリオプラス・ソサエティ入会に関するご案内

◇委員会報告

☆スマイルボックス

布川史明委員



・瀬戸亨一会長：河本さん本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願いします。

・鈴木美乃幹事：河本さん卓話楽しみにしております。

ます。

・河本親秀さん：本日は卓話の時間を頂いて有り難うございます。今日は私の終活の一つとしての戦争体験のお話しをお許し頂きたく、よろしくお願いします。

・新宅文雄さん：河本さん卓話楽しみです。よろしくお願いします。

・守屋紀忠さん：河本さん卓話よろしくお願いします。

・田中敏治さん：こんにちは、河本さん卓話宜しくお願い致します。

・布川史明さん：皆様、暑い日寒い日、天候不順な今日この頃ですが、健康管理に気をつけて頑張ってゆきましょう。河本さん卓話楽しみにしています。よろしくお願いします。

☆河本親秀さん：



前会の例会で皆様方に、会報を作るのに、新しいテクノロジーを使ってやりますので、レコーダーに吹き込む時にはマスクをしないで、出来るだけ声がかくぐもらないように話して下さいとお願いしました。これに(レコーダー)きちんと上手く入っていました。これを使ってやってみましたが、私のソフトに対する知識不足があって、入力すると直ぐにページが一杯になってしまう。容量は5千行あるのに使い方が間違っている為と思います。そのため、時間的に間に合わないピンチでしたが、先週の卓話は藤田さんから原稿を頂いていたので、事なきを得ました。これからは私の技術を上げてもっと楽に出来るようにしたいと思います。

声がかくぐもっていたり、言い直しをされる時に発音が不明瞭になった時は観面に変な文字になって現れます。皆様のご協力でマスクを外して話をして頂く事で助かります。宜しくお願い致します。

☆新宅文雄さん：



ロータリーの友5月号の「友愛の広場」=投稿のページ=を見ていて、クラブの活性化、クラブの広報に皆さん苦勞しているんだなと思いました。

金沢市で藤井聡太王将と羽生善治九段の王将戦が開催された時、この対局で金沢を盛り上げるために、金沢香林坊RC会員が石川にゆかりの食材をこの機会に広くPRしようと企画、イチオシ「勝負めし!」投票を計画しました。8種類のメニューから藤井王将と羽生九段に食べて欲しい「勝負めし」を市民に投票して貰い、王将戦を盛り上げる事。5,000票を目標にポスター2百枚、ちらし2千枚を配付。しかし1,900票しか集まらなかった。そこで会員の職場、友好クラブ、金沢のSNS、メディアに中間発表・結果速報のプレスリリース。地元テレビ5局、ラジオ1局、4新聞紙に取り上げられ、それに伴い全国ニュースでも取り上げられ、「金沢の王将戦の勝負めし」として知られるようになり、北海道から沖縄までの方から投票があり、最終的に12,500票に達したという投稿があります。

この投稿の次に、ジェニファー・ジョーンズRI会長が神戸のロータリー研究会に来日されたあと、昨年11月17日、ホテルニューオータニでの東京第2750地区山手東グループ=渡辺美智子ガバナー補佐=11クラブの合同例会に来臨、盛大に合同例会が行われました。

渡辺美智子ガバナー補佐は大磯の迎賓館の館長で、管理会社の専務です。私が大磯クラブの会長の時、クラブに来てスピーチをやったんです。彼女は私が会長をやっていた時に会長をやっており、今ガバナー補佐をやっている。そんな関係でこの記事を見ていて、アット思ったのは「ウクライナでは戦時下でもロータリアンは増えている」と書いてある。ウクライナにもロータリーがあったのかな？知らなかったんですけれども戦時下、戦争の真っ最中でクラブ

のメンバーが増えている。一寸考え難いな！？そんな記事がありましたので、報告まで

☆瀬戸亨一会長：



美化キャンペーンですけど、朝6時45分集合です。余り暑くなければ大磯RCのビブスを着てやりたいと思います。宜しくお願いします。

◇ 卓話

◆◆ 私の戦争体験 ◆◆

河本親秀さん



5月18~21日、広島でG7サミットが開催され、原爆資料館見学に始まり、ウクライナのゼレンスキー大統領の予期せざる対面参加を得て、ロシアのウクライナ侵攻からウクライナ防衛を支持する合意や核不使用、世界平和実現の方策等について幅広い議題について話し合われ、無事終了しました。

ロシアのウクライナ侵攻、シリアやスーダン、ミャンマーの内戦など、いつも戦争は世界の何処かで起こっており、一般市民は苦しめられていて、恒久的な平和の維持は世界人類の永遠の課題と思います。

ゼレンスキー大統領は「人類は歴史から戦争を無くさなければならない」と述べています。



昨日、茅ヶ崎演劇鑑賞会の演劇を藤沢市民文化会館で観てきました。こまつ座＝井上ひさしに関する作品のみを専門に上演する制作集団＝上演の「きらめく星座」です。第2次世界大戦＝日本では大東亜戦争＝勃発直前の昭和15年8月15日～昭和16年12月7日の間に於ける、東京の小さなレコード店「オデオン堂」の家族が時代に翻弄される物語です。

陸軍に入隊していた長男の脱走により突如として「非国民の家」となる。ところが長女が傷痍軍人と結婚したことで「美談の家」となるが、脱走した長男を追ってきた憲兵伍長が同居人になるなどの騒動が起こり、家族が時代の濁流に呑み込まれて行く物語で、83年前のことを思い出し、緊張しながら観ていました。劇中、当時の流行歌7曲が歌われたり、ピアノで演奏される場面もあり、懐かしい思い出も。＝「青空」、「きらめく星座」、「小さな喫茶店」、「一杯のコーヒーから」、「東京ラブソディ」、「隣組」、「たばこ屋の娘」、「雨のブルース」等＝

偶々今日の卓話で私の戦争体験をお話しすることにしてその前日に観るという奇縁的なことが起こり、我ながら不思議な思いがしています。

私の戦争体験：

我が一家が大阪に住んでいた時、大東亜戦争＝第2次世界大戦が勃発しました。昭和16年(1941年)12月8日、私が11歳、小学校6年生の時です。終戦は昭和20年(1945年)8月15日で、私が15歳、旧制中学校4年生の時でした。1943年、大阪市は米国機の空襲に備えて防火用道路と爆弾から身を守るための防空壕を造るため、幅50メートルの計画道路を造る事にしまして、運悪く我が家もその道筋に当たり、強制疎開させられ、近隣の空き家に移転しました。爆撃か

ら貴重品を守るため床下に穴を掘り空襲警報が出た時は家財を入れ、蓋をし、土をかけて焼ける事を防ぐようにしておりました。

戦争が始まって2年くらい経って、兵士が必要のため、徴兵で20歳以上の健康な若者は全員徴兵され、工場の働き手が無くなり、中学3年生以上の生徒はは勤労働員で軍需工場で工員として働らかされました。私は今のパナソニックが設立した松下航空機＝当時の金属不足に対応して、胴体と翼が木製の飛行機を開発製造する会社＝の部品・組み立て工場に配属されました。結局終戦までに完成した飛行機は4機で、うち1機は離陸出来ぬ失敗作でした。

1945年3月10日に初めてB29による東京無差別大空襲があり、10万人が亡くなったと言われていています＝勿論当時は一切そんな事は知らされませんでした＝大阪の初空襲は3月14日でした。その後東京、大阪だけでなく主要都市は軒並みB29の空襲を受けました。この頃は既に日本の空を守る飛行機は殆ど無く、高射砲の防空射撃も殆ど無く＝B29は高度1万メートルで飛来、高射砲弾は届かなかったため＝B29は我がもの顔で悠悠飛来して、殆どが木造である民家を焼き払うに有効な焼夷弾＝油脂焼夷弾、エレクトロン焼夷弾、黄燐焼夷弾＝を投下し、全国で47万の民間人が殺傷されました。大阪はその後、数回大空襲を受け、空襲で我が家が焼かれたのは6月15日でした。

爆弾の落ちる音：ゴーッ、地上に達するとフット音が消えて、2-3秒経って、ドッカーン

焼夷弾落下の音：地上数百メートルで数十個に分裂し、ザーという豪雨の音に似て、火を噴きながら落下して火災を起こす。

家が空襲に遭う前、7歳下の妹はその1年以上前に小学生の集団疎開で三重県の名張の方のお寺に行っていた。母が身重だったので、母に代わって姉と何回か＝3ヶ月に1回くらい、面会に行った事があった。栄養不足で痩せ細った子供達、父兄が来るというので、歌や踊りを披露してくれるのですが、幼い子供達の心情を察してまともに見られなかった。そして別れる時は、辛くて泣きそうになるのを我慢し、妹たちが見えなくなってから姉と二人で泣きました。

6月15日空襲

朝早く空襲警報があり、松下飛行機には行かず、家財を埋めて疎開道路へ。

疎開道路の防空壕には女性と子どものみ入り、中学生以上の男子は家財を積んだ車や屋台車の陰、或いは路上に毛布や布団を被り防空壕付近に姿勢を低くして退避。

曇り空で機影は見えなかったが、9時頃B29からエレクトロン焼夷弾投下

私は毛布を被りうずくまって居て運良く当たらなかったが、5~6メートル間隔くらいに焼夷弾が突き刺さって青白く光る火花を吹き散らしていた。私に最も近かったのは5メートルくらいところに突き刺さって火を噴いていた。よくぞ直撃を受けず幸運であった。直撃を受けた人が多数いた事が後で分かった。後日この日に私の小学校の同級生の一人が胸に焼夷弾の直撃を受けて亡くなったと聞いた。



疎開道路から西側が焼かれ、豪火が私達に襲いかかってきて、水に濡らした毛布や布団を被って私達は疎開道路上を逃げ回った。

空襲から1時間くらい経って家屋が燃え尽きる頃、黒い雨が降り始めた。建物が焼かれた時に出た煤を含んだ雨＝大規模火災があった時、地上から上空に上がった煤を含んだ熱い空気が上空の雲や水分と反応して雨になり、落下してくる＝雨が降り始めた。その中をうろうろと逃げ回った。

空襲警報が解除されて、私がお家の方まで戻ってきた時、父＝警防団の分団長をしていて、空襲警報が出ると直ぐに警防団の詰め所に詰めていて、家には居なかった＝がこちらに向かっているのが見えた。

私は家に埋めた家財の消失を食い止めようと家の側にあった防火水槽(コンクリート製)からバケツで水を汲み、玄関のあったところ、そこはまだ焼け落ちた木材が丁度燃え盛ったコークスのような熾火が燃え盛っていた。その手前から水を掛けた。もっと遠くまで水を掛けようと足を踏ん張った途端、足下が崩れ燃え盛る火の中にずるずると嵌まり込んだ。

「熱い熱い助けて!!」と叫んだ事を覚えていて、もう一方、もがきながら気が遠くなる中で、僕は死ぬ、死ぬというのはこういう事か」と思った事も覚えている…。意識を失ってしまった私が、フット我に返った…。そこには父が居て、私が穴にすっぽりはまり込む直前、捨て身で私の脇を抱えて助け出してくれた。父は柔術初段の腕前で、その時に覚えた投げ技で私を救い出してくれたと話してくれました。父が偶然か、神の導きか、私と時を同じくして家まで来ていたお陰で、今日私はここに居ます。一瞬でも遅れていたら、私の死は誰にも知られず、行方不明になっていたと思います。奇跡と言うんでしょうか、父は生みの親であり、命の恩人です。

火傷は両足首、両ふくらはぎ、両手首でした。右手首は特に酷く、5~6センチ幅で皮膚がペロリと剥けて肉が露出していた。急いで救急病院へ行き手当を受けた。沢山の怪我人や火傷を負った人が来ていた。私が待たされていた部屋はタイル張り、同室者はどこか怪我をしたのか、真っ青な顔をして意識なく床に伏せていた。

治療室に入って火傷の手当を受けたが、薬はリパノール(消毒薬)で拭くだけで、後はガーゼを当てて包帯をするだけで終わりだった。治療を受けている最中同じ治療室ではカーテンの向こうで怪我人の治療、手術をしていた。患者が痛い痛いと大声を上げていたが、看護婦さんが患者を励ます大声で「男でしょう、我慢なさい!」男の声がずっと消えて、数分シャリシャリという音が聞こえ、何かが床に投げ出された。それはよく見ると膝上から切り取られた足であった。その場所をよく見たら手術で切り取られた足や腕が山積みになっていた。何か夢でも見ているような感じでした。それを見た私は、私の火傷なんて大した事ではないと思った。

家を焼かれた我々(父、第3女を妊娠中の母、3歳上の姉の4人)は知人の世話で市の外れの家を借り、生活を始めた。家の数百メートルくらい後ろに高射砲陣地があり、空襲がある時は、時々高射砲を

撃っていました。7月にはアメリカの空母から発艦した飛行機が低空で高射砲陣地を攻撃した事もありました。私はそこから週1回病院へ火傷治療に通った。薬はリバノールしかなく、ガーゼや包帯も新しいものはなく、使っているものをそのまま巻き直す事しか出来なかった。3週間程経った時、包帯をしている足首で何かが蠢いている感じがして包帯を取って見たら小さな蠅のウジ虫が傷面一杯に蠢いていた。夏の最中であり、ハエが火傷の膿の匂いに寄って来て卵を産みつけ、その包帯ガーゼを洗う事もなく使っているので卵がかえり育って、このようになってらしい。次の週、病院へ行って治療を受ける時に蛆は全部取り除いたと思っていたが、傷か痛い、何かが蠢いているような感じがして、包帯をほどいたら生き残ったウジ虫が10数匹居て、2センチ近くに育ち動いていた。「男やもめに蛆がわく」じゃないか? (^o^)

当時は食べるものは配給だったが、それも滞り、自分で何かをつくるか調達しないとイケない状況であった。家の隣の小さな空き地にサツマイモの苗を植えて、その葉っぱと茎を食べる(芋ではなくて)。雑草の中で食べられるものを探しそれを食べる。アカザが良いというので、草原で刈り取ってきて、その葉や茎の皮を剥いて食べた事が何回もある。母は臨月を迎えていたが、気丈に私達を支えてくれていた。7月終わり頃、空襲警報下、陣痛が始まり、空襲警報が解除になって、産婆さんが来てくれて、栄養が悪いので、母の体力が落ちていたため、生む力が足らず、出産を促す注射を打って貰うよう医者を探してきて欲しいと言われ、父と一緒に飛び出して医者探しをしたが、警報で医者は全員救護所つめで不在。がっくりしながら父と家に戻ったら、幸いに無事出産出来ていてほっとした。母が40歳の末っ子でした。

8月15日、ポッドダム宣言を受入無条件降伏するという第2時世界大戦終戦勅語を聞いた時、戦争に負けた悔しさより、これで逃げ回る苦勞から開放されるというホッとした気持ちが湧いた事を覚えている。

自分が火傷を負った時のこと、救急病院で見た事はその後50年くらい、誰にも話す事が出来なかった。あれは夢だったんだと自分に言い聞かせるというか? 恐ろしい地獄の光景なので、記憶の底に覆い隠し、意識的にも。無意識的にも見なかった事にして、記憶から消してしまおうとしていた気がする。

この事は家族にも友人にも話す事は出来なかった。親しい友にはさり気なく部分的な話をした事があるが、公に話すのは今日が初めてである。



先日、開催されたG7広島サミットで語られた戦争防止と平和の維持＝ロシアのウクライナ侵攻に関する議論＝それに刺激されて民間で盛り上がっている戦争と平和の議論、広島原爆投下の惨状、エピソード等に刺激され、間もなく到来する6月15日の戦災時の惨い体験を思い出し、戦争が起こればその裏側に起こっている1市民の惨状の例を皆さんにお知らせしたいと考え始め、この体験を私の終活の一つにさせて頂こうと思ひ立ち、お話しさせて頂きました。皆さんにとって愉快な話ではなく申し訳なく存じます。

この続きとして、**次回は自分としての平和への願いと実践**についてまとめたいと考えています。

ロータリークラブの究極の目的は世界平和ですし、私が1951年から働いていたケントク=ワックス、クリーナの製造販売会社で、1962年アメリカのS. C. Johnson社（創立以来同族会社でユニークな経営方針を打ち立て、世界50カ国に子会社があり、アメリカで働きたい会社のトップ10に入っている会社）の子会社となる＝は当時社員50人くらいの会社で、朝令夕令に礼堂に集まり、お経を上げた後、

朝礼はケントク悲願

謙遜 賢明 剛健の徳を養い 仕事の第一は 人間をつくることでもありますように

働くことが楽しみであり 利益は喜びの取引から生まれますように

商いを通じて人と仲良くなり 経済を以て世界平和のお役に立ちますように

夕礼はケントクの祈り

はかなきは金銭
頼りなきは地位
人の思惑も苦にせず
ただひたむきに懺悔の一路を歩み
報恩の托鉢をします。

と当番の社員が読み上げている会社でした。

京都山科一灯園の思想を経営に活かす宣光社の流れを汲む会社です。一灯園創立者の西田天香師は参議院議員を務められたこともあります。

天香師の詠まれた歌に

なべて世のさわりの根をば訪ねゆきて
己が罪とぞ帰りきし業

=懺悔の生活、他者に奉仕する生活=が思想のコアです。



布川史明SAA :



私なんか世代が全然外れちゃっているの…、聞き入っちゃいましたけど、ぞっとしますよね…。

河本親秀さん：ゼツタイ戦争はしてはいけないですよ。済みません、辛い話を聞いて頂きました。皆さんには申し訳ありません。

点鐘：瀬戸亨一会長



一寸胸が詰まるんですけど、河本さん卓話有り難うございました。何年か前に湯河原での総会で泊まった時に、河本さんと二人、温泉につかりながら、どういう少年時代を過ごしてきたかという話をされたのを思い出します。今日は戦争体験の貴重なお話しで…。最近河本さんは終活・終活と一寸言い過ぎじゃないかと…(^o^)、でも貴重な話を次世代に伝えて頂きたいと思います。今日は有り難うございました。